

事務局／旭川市金星町1丁目1-52 道北口腔保健センター内
☎(0166)22-2361

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>

65歳以上の約500万人が 総義歯を必要としています

厚生労働省の平成17年度の歯科疾患の実態調査によると、80歳以上では38%が一本も歯がなく、65歳以上の約500万人が総義歯を必要としています。そしてまた、一部に入れ歯をいれなければならない人はさらに多く存在しているのが実状です。

●「むし歯予防」と「歯周病予防」で歯を残し、歯の財産を守ろう

日本人の多くの歯は「むし歯」と「歯周病」が抜歯の主な原因で、年齢が進むとともに年々減少し、高額な健康資産を失っています。そのことを当たり前の加齢現象と考えるのは誤りで、「フッ化物によるむし歯予防」と「歯磨きによる歯周病予防」という適切な方法で予防できるのです。

平成元年から始まった80歳で20本以上自分の歯を残そうという「8020ハチマル・ニイマル運動」も着実に成果を上げてきています。3年前の全国調査では80歳から84歳では20本以上の自分の歯を持っている人は21%でした。12年前には12%でしたから着実に残存する歯が増えていることになります。

●健全歯1本当たり104万円・永久歯28本で2930万円と評価

昨年、岐阜医療技術短期大学の中村浩二准教授の「自分の歯の価値がいくらなのか」という「歯の資産価値」のアンケート調査をしました。その結果は、日ごろ専門家として歯の大切な役割と価値を知っている歯科医師の歯の資産評価は1本当たり104万円でした。これは親知らずを除いた永久歯28本に当てはめると総額2,930万円となりました。もちろんこの健全な歯は、健康に生きることへの様々な喜びを与えてくれる貴重なものでお金に換えがたいものですが、健全歯を28本ある人は3000万円近くの大きな財産を持っていることになります。

私たち歯科医師会会員は地域の人々と協力して、「適切な予防と治療」で人々の歯という貴重な財産を守り、健康で快適な生活を守っていきたくと考えてます。